

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2016年4月22日）
運用方針	投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・米国トータル債券市場ETF 先進国債券 iシェアーズ 世界国債（除く米国）ETF 先進国債券 バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） 先進国債券 iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF 新興国債券 バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF 新興国債券 TOPIX 運動型上場投資信託 国内株式 iシェアーズ MSCI コクサイ ETF 先進国株式（除く日本） バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF 新興国株式 バンガード・REIT ETF グローバルリート バンガード・グローバル（除く米国）不動産ETF グローバルリート
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資します。</li> <li>■市場のリスク選好状況を定量的に捉え、資産配分を調整することにより、下方リスクを抑制します。</li> <li>■債券の一部について、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。</li> </ul>
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回（原則として毎年4月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。              ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。              （基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）</p> </div>

# 三井住友・DC世界 バランスファンド （動的配分型） 【運用報告書（全体版）】

（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

第 3 期

決算日 2019年4月22日

## 受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
 (旧:三井住友アセットマネジメント)  
 〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
 お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
 受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## ■ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 入 率	純 資 産 総 額
		税 分 配	込 金 騰 落	中 率		
(設 定 日) 2016年 4 月22日	円 10,000	円 —	騰 落 —	中 率 —	% —	百万円 30
1 期 (2017年 4 月20日)	10,458	0	騰 落 4.6		93.3	192
2 期 (2018年 4 月20日)	10,075	0	騰 落 △3.7		98.2	781
3 期 (2019年 4 月22日)	10,107	0	騰 落 0.3		97.8	1,259

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 円	価 額		投 資 信 託 証 券 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2018年 4 月20日	10,075	騰 落	% —	% 98.2
4 月末	10,019	騰 落	△0.6	99.1
5 月末	9,914	騰 落	△1.6	96.6
6 月末	9,904	騰 落	△1.7	79.1
7 月末	9,918	騰 落	△1.6	89.2
8 月末	9,878	騰 落	△2.0	89.4
9 月末	9,858	騰 落	△2.2	65.1
10 月末	9,780	騰 落	△2.9	78.0
11 月末	9,773	騰 落	△3.0	65.0
12 月末	9,786	騰 落	△2.9	60.2
2019年 1 月末	9,869	騰 落	△2.0	89.3
2 月末	9,934	騰 落	△1.4	98.7
3 月末	10,071	騰 落	△0.0	98.3
(期 末) 2019年 4 月22日	10,107	騰 落	0.3	97.8

※騰落率は期首比です。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	10,075円
期末	10,107円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	+0.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

**基準価額の主な変動要因（2018年4月21日から2019年4月22日まで）**

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

**上昇要因**

- 先進国外国株式が上昇したこと
- 新興国債券が上昇したこと
- グローバルリートが上昇したこと
- 円に対して米ドルが上昇したこと

**下落要因**

- 国内株式が下落したこと
- 新興国株式が下落したこと
- 先進国外国債券が下落したこと
- 円に対してユーロが下落したこと

投資環境について（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

先進国外国株式市場が上昇する一方で、国内株式市場は下落しました。国内債券市場は上昇しました。先進国外国債券市場は下落しました。新興国は株式市場が下落する一方で、債券市場は上昇しました。グローバルリート市場は上昇しました。為替市場では、米ドルが円に対して上昇、ユーロが円に対して下落する展開となりました。

## 国内株式

期首から9月にかけては、米中貿易摩擦に対する警戒感等がある中、米国株式の持直しや円高の一服などもあり、もみあいながらも上昇しました。10月以降は米国株式の下落や円高の進行などを受け、国内株式も年末まで下落しました。2019年1月以降は、米国株式の急反発、米ドル高・円安の動き等もあり、期末にかけて国内株式は上昇傾向で推移しました。もっとも、先行きの企業業績に対する慎重な見方や一時的に円高が進んだことなどもあり、戻りは限定的でした。

当期のTOPIX（東証株価指数、配当込み）は5.3%下落しました。

## 国内債券

期首から7月中旬まで、日銀による低金利政策の維持等を背景に、債券利回り（10年国債利回り）は0.05%程度の低位で推移しました。その後、7月下旬に日銀の金融緩和

策修正の思惑の広がりから上昇（価格は下落）に転じ、8月月初の金融政策会合で日銀が長期金利の変動幅の拡大を容認したこともあり、10月上旬にかけては債券利回りがピークで0.15%程度にまで上昇しました。10月半ば以降は、世界的な株価の下落や債券利回りの低下の影響等もあり、債券利回りは期末まで低下基調（価格は上昇）で推移しました。

当期の10年国債利回りは期首の+0.06%から期末は-0.03%に低下しました。

## 先進国外国株式

主要先進国の株価は期初から9月にかけて、企業業績に対する期待感等を背景に、米国株式を中心としてじり高の推移となりました。10月以降は、米金利の上昇やIMF（国際通貨基金）が世界成長予測を下方修正したことなどをきっかけに米国株式が下落に転じたことや、その後も米中貿易摩擦に対する不透明感、世界的な景気減速懸念などを背景に、概ね年末まで下落基調で推

移しました。年明け以降期末にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）が利上げに慎重な姿勢に転じたことや米中貿易協議進展に対する期待などを受け、米国株式を中心に上昇傾向で推移しました。

当期のMSCIコクサイインデックス（配当込み、米ドルベース）は、6.0%上昇しました。

---

## 先進国外国債券

米国の債券市場では期初から10月半ばにかけて、F R Bによる政策金利の引上げ継続や株式の上昇等を背景に、利回りが上昇傾向で推移しました。10月上旬には、米国10年国債利回りが年初来高水準の3.2%程度にまで上昇しました。11月には世界的な株価の下落や景気減速懸念等を背景に利回りは低下に転じ、年明け以降もF R Bの政策姿勢が慎重化したことなどを背景に、期末まで米国国債利回りは低下基調で推移しました。

欧州の債券市場では、イタリアの政局を巡る不透明感や、関係の深いトルコの政治・経済情勢の不安定化、英国のEU（欧州連合）離脱に向けた動き等を背景に、期を通して債券利回りは低下基調で推移しました。

当期の米国10年国債利回りは期首2.91%から期末には2.56%に低下しました。ドイツ10年国債利回りは期首0.6%から期末には0.03%に低下しました。

米国やドイツ等で利回りの低下が見られたものの、米ドルに対してユーロが下落したことや欧州周辺国の一部が軟調であったこと等を背景に、当期のFTSE世界国債インデックス（除く日本、米ドルベース）は1.7%の下落となりました。

---

## グローバルリート

グローバルリート市場は、期首から8月にかけては堅調な景気動向などを背景に上昇しました。9月以降は、米国の追加利上げ観測などを受けて10月中旬にかけて米国金利が上昇したことや、12月には世界的に株価が下落してリスク回避姿勢が高まったことなどを背景に、年末にかけて下落しました。年明け以降は、米国の利上げ観測の後退などを背景に期末まで上昇を続けました。

当期のS & P先進国REIT指数（米ドルベース）は、9.3%上昇しました。

---

## 新興国株式

米国の政策金利の引上げが続いたことに加え、トルコリラが8月に米国との関係悪化をきっかけに急落するなど新興国を取り巻く不透明感が高まり、新興国株式は期初から年末まで軟調に推移しました。年明け以降は、米国の利上げ観測の後退や、先進国株式の上昇等を背景に、新興国株式も上

昇する展開が続きました。

当期のMSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)は、7.7%下落しました。

---

## 新興国債券

FRBによる政策金利上げの継続や一部新興国の政局不安などを背景として、新興国債券市場は期初から年末にかけて、上値の重い相場展開となりました。年明け以降から期末にかけては、FRBによる利上げ観測の後退や、リスク回避姿勢の後退などを背景に新興国債券市場が上昇する相場展開となりました。

当期のJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(米ドルベース)は3.9%の上昇となりました。

---

## 為替

米ドル・円相場は、期首から9月にかけて、底堅い米景気動向や米国金利の上昇などをサポート材料に上昇しました。10-11月はおもあいでも推移しましたが、12月には世界的な株価の下落を受け、リスク回避姿勢が強まり、米ドルが円に対して急落する展開となりました。年明け以降は、世界的な株価の上昇を受けたリスク回避姿勢の後退を背景に米ドルが円に対して上昇しまし

た。

ユーロは、対米ドルおよび対円で下落しました。米中貿易摩擦により世界景気に対する減速懸念が強まる中、イタリアやスペインの政治動向の不安定化や英国のEU離脱交渉における混乱などからユーロを取り巻く不安材料は払拭されず、ユーロの下押し材料となりました。

当期の米ドル・円は、期首107円48銭から期末111円99銭と4円51銭の米ドル高・円安となりました。また、当期のユーロ・円は、期首132円68銭から期末125円88銭と6円80銭のユーロ安・円高となりました。

ポートフォリオについて（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いました。株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

●資産配分

当期の資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初は、市場は弱気に傾いた局面との判断から、低変動ポートフォリオ100%の配分としました。2018年1月末より、米国金利の上昇を受け変動性の高まっていた株式市場も、米国を中心に4月中旬以降は落ち着いた動きとなったことから、リスク態度指数が上昇する場面もありましたが、欧州や新興国での景気減速懸念や株価低迷を受け、総じてみると年末に向けリスク態度指数は軟調な推移となりました。そのため、2019年2月上旬まで、低変動ポートフォリオ100%の配分を維持しました。なお、低変動ポートフォリオにおいては、12月まで新興国債券や外貨の組入れを徐々に引き下げました。

10月から株式市場が大きく調整し、リスク態度指数も下げ足を速めましたが、2019

年1月になると、米国が政策金利の上げを急がない等の金融緩和的な姿勢に転じると株式市場は急反発し、リスク態度指数も反転上昇に向かいました。その動きが継続する可能性の高まった2月上旬に、市場は強気に傾きつつあると判断し、高変動ポートフォリオを組み入れ、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%の配分としました。さらに3月下旬に、市場は強気に傾いたとの判断から高変動ポートフォリオの組入れを引き上げ、高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%の配分としました。



## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### ●組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	ベンチマーク	期末組入比率
バンガード・米国トータル債券市場ETF	先進国債券	ブルームバーグ・バークレイズ 米国総合浮動調整インデックス	32.3%
iシェアーズ 世界国債(除く米国)ETF	先進国債券	S&Pシティグループ・インターナショナル・ トレジャリー・ボンド・インデックス(除く米国)	－%
バンガード・トータル・インターナショナル 債券ETF(米ドルヘッジあり)	先進国債券	ブルームバーグ・バークレイズ・ グローバル総合(米ドル除く) 浮動調整RIC基準インデックス (米ドルヘッジベース)	14.6%
iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	新興国債券	J. P. モルガンEMBI グローバル・コア・インデックス	11.7%
バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF	新興国債券	ブルームバーグ・バークレイズ米ドル建て 新興市場政府債RIC基準インデックス	－%
TOPIX連動型上場投資信託	国内株式	TOPIX(東証株価指数)	10.3%
iシェアーズ MSCI コクサイETF	先進国株式 (除く日本)	MSCIコクサイ・インデックス	6.5%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	新興国株式	FTSEエマージング・マーケット・ オールキャップ(含む中国A株)インデックス	4.8%
バンガード・REITETF	グローバルリート	MSCI米国REITインデックス	10.5%
バンガード・グローバル(除く米国)不動産ETF	グローバルリート	S&Pグローバル(除く米国) 不動産インデックス	7.2%

ベンチマークとの差異について（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

（単位：円、1万円当たり、税引前）

項目	第3期
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（—%）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	563

当期の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は、2018年後半は低下基調でしたが、2019年1月初めより反発し、それ以降上昇基調を継続しています。そのため、現状は市場が強気に傾いたリスク・オン（リスク選好）局面と判断しており、当面は、高変動ポートフォリオ40%、低変

動ポートフォリオ60%の資産配分を継続します。

## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

(適用日：2019年4月1日)

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### ■ 1万口当たりの費用明細（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 （投 信 会 社） （販 売 会 社） （受 託 会 社）	88円 （ 45） （ 40） （ 3）	0.890% （0.456） （0.402） （0.033）	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （投 資 信 託 証 券）	33 （ 33）	0.334 （0.334）	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （投 資 信 託 証 券）	0 （ 0）	0.003 （0.003）	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 （保 管 費 用） （監 査 費 用） （そ の 他）	5 （ 4） （ 1） （ 1）	0.049 （0.036） （0.007） （0.006）	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	126	1.276	

期中の平均基準価額は9,892円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「組入れ投資信託証券の内容」をご覧ください。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

#### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国 内	TOPIX連動型上場投資信託	口	口	千円	口	千円
合 計		85,760	140,354	9,310	15,696	
外 国	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル	
小 計		ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	39,056	1,924	67,026	3,253
		ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	10,720	699	—	—
		ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	26,034	2,789	35,125	3,753
		VANGUARD TOTAL BOND MARKET ETF	89,599	7,115	71,575	5,696
		VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	112,239	6,131	104,935	5,741
		VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	21,160	1,222	7,280	435
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	18,120	760	5,740	246
VANGUARD REAL ESTATE ETF	13,800	1,198	—	—		
小 計	330,728	21,841	291,681	19,128		

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等（2018年4月21日から2019年4月22日まで）

(1) 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
投資信託証券	百万円 2,562	百万円 4	% 0.2	百万円 2,146	百万円 -	% -

(2) 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料総額	3,336千円
(b) うち利害関係人への支払額	3千円
(c) (b) / (a)	0.1%

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2018年4月21日から2019年4月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2019年4月22日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首（前期末）	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
TOPIX連動型上場投資信託	口 -	口 76,450	千円 129,276	% 10.3
合 計	-	76,450	129,276	10.3

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期		末
	口数	口数	評価額		組入比率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
ISHARES INTERNATIONAL TREASURY BOND ETF	27,970	—	—	—	—
ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	—	10,720	725	81,210	6.5
ISHARES JP MORGAN EM BOND ETF	21,091	12,000	1,314	147,168	11.7
VANGUARD TOTAL BOND MARKET ETF	26,987	45,011	3,626	406,186	32.3
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	22,229	29,533	1,641	183,858	14.6
VANGUARD GLOBAL EX-US REAL ESTATE ETF	—	13,880	812	91,042	7.2
VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	—	12,380	544	61,017	4.8
VANGUARD REAL ESTATE ETF	—	13,800	1,179	132,121	10.5
合 計	98,277	137,324	9,845	1,102,604	87.6

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 投資信託財産の構成

(2019年4月22日現在)

項 目	期		末
	評 価 額	比 率	
投 資 信 託 受 益 証 券	千円		%
	1,231,881		96.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	42,144		3.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,274,025		100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年4月22日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	1,900,833,854円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	39,461,660
投資信託受益証券(評価額)	1,231,881,071
未 収 入 金	629,491,123
(B) 負 債	641,828,341
未 払 金	635,794,729
未 払 解 約 金	1,001,157
未 払 信 託 報 酬	4,995,209
未 払 利 息	105
そ の 他 未 払 費 用	37,141
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,259,005,513
元 本	1,245,697,088
次 期 繰 越 損 益 金	13,308,425
(D) 受 益 権 総 口 数	1,245,697,088口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,107円

※当期における期首元本額775,627,748円、期中追加設定元本額600,603,215円、期中一部解約元本額130,533,875円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2018年4月21日 至2019年4月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	23,040,503円
受 取 配 当 金	24,442,374
受 取 利 息	21,361
支 払 利 息	△ 1,423,232
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	962,131
売 買 益	116,914,023
売 買 損	△115,951,892
(C) 信 託 報 酬 等	△ 9,420,261
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	14,582,373
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 27,231,775
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	25,957,827
(配 当 等 相 当 額)	( 49,625,837)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 23,668,010)
(G) 計 (D + E + F)	13,308,425
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	13,308,425
追 加 信 託 差 損 益 金	25,957,827
(配 当 等 相 当 額)	( 49,625,837)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 23,668,010)
分 配 準 備 積 立 金	20,625,614
繰 越 損 益 金	△ 33,275,016

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(13,997,994円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(49,625,837円)および分配準備積立金(6,627,620円)より分配可能額は70,251,451円(1万口当たり563円)ですが、分配は行っておりません。

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当	期

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## 組入れ投資信託証券の内容（直近決算の情報）

ファンド名	バンガード・米国トータル債券市場ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	ブルームバーグ・バークレイズ米国総合浮動調整インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.05%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

## ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年12月31日）

	銘柄名	種類	クーポン	償還日	組入比率
1	Fannie Mae Pool	モーゲージ証券	2.000%－9.500%	1/1/19－2/1/49	9.2%
2	Ginnie Mae II Pool	モーゲージ証券	2.500%－8.500%	12/20/20－1/1/49	6.4%
3	Freddie Mac Gold Pool	モーゲージ証券	2.000%－10.000%	0/0/0－1/1/49	6.0%
4	Ginnie Mae I Pool	モーゲージ証券	3.000%－10.500%	4/15/19－1/1/49	0.6%
5	Federal National Mortgage Assn.	政府機関債	1.250%－7.250%	1/21/20－7/15/37	0.4%
6	United States Treasury Note/Bond	財務省証券	2.125%	5/15/25	0.5%
7	United States Treasury Note/Bond	財務省証券	2.875%	8/15/28	0.5%
8	United States Treasury Note/Bond	財務省証券	2.625%	11/15/20	0.4%
9	United States Treasury Note/Bond	財務省証券	2.125%	12/31/22	0.4%
10	United States Treasury Note/Bond	財務省証券	1.375%	2/15/20	0.4%

## ■ 費用明細（2018年1月1日から2018年12月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.035%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。



## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.11%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年10月31日）

	銘 柄 名	ク ー ボ ン	償 還 日	組 入 比 率
1	French Republic	1.000%	5/25/27	0.6%
2	Bundesschatzanweisungen	0.000%	6/12/20	0.5%
3	Japan	0.100%	6/20/22	0.5%
4	French Republic	0.000%	5/25/21	0.5%
5	Japan	0.100%	9/20/21	0.5%
6	Federal Republic of Germany	0.250%	8/15/28	0.5%
7	Japan	0.100%	6/20/21	0.4%
8	Japan	0.100%	2/15/20	0.4%
9	French Republic	0.250%	11/25/20	0.4%
10	Federal Republic of Germany	0.000%	10/13/23	0.3%
全銘柄数			5,261銘柄	

### ■ 費用明細（2017年11月1日から2018年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.09%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の債券
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.40%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年10月31日）

	銘柄名	国	クーポン	償還日	比率
1	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	ウルグアイ	5.1%	2050/6/18	0.9%
2	POLAND (REPUBLIC OF)	ポーランド	5.0%	2022/3/23	0.9%
3	RUSSIAN FEDERATION RegS	ロシア連邦	5.25%	2047/6/23	0.8%
4	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	8.75%	2033/11/21	0.8%
5	PERU (REPUBLIC OF)	ペルー	5.63%	2050/11/18	0.7%
6	COLOMBIA REPUBLIC OF (GOVERNMENT)	コロンビア	5%	2045/6/15	0.7%
7	1MDB GLOBAL INVESTMENTS LTD RegS	マレーシア	4.4%	2023/3/9	0.7%
8	HUNGARY (REPUBLIC OF)	ハンガリー	6.38%	2021/3/29	0.6%
9	KAZAKHSTAN (REPUBLIC OF) MTN RegS	カザフスタン	5.13%	2025/7/21	0.6%
10	EGYPT (ARAB REPUBLIC OF) MTN RegS	エジプト	8.5%	2047/1/31	0.6%
全銘柄数			415銘柄		

### ■ 費用明細（2017年11月1日から2018年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	TOPIX連動型上場投資信託
形態	国内籍投資信託（円建て）
運用会社	野村アセットマネジメント株式会社
主要投資対象	TOPIX（東証株価指数）（ベンチマーク）に採用されているまたは採用が決定された銘柄
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	日本円
管理報酬等	年0.1188%（税抜き0.11%）程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年7月10日）

	銘柄名	組入比率
1	トヨタ自動車	3.5%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.8%
3	ソフトバンクグループ	1.6%
4	ソニー	1.5%
5	日本電信電話	1.4%
6	三井住友フィナンシャルグループ	1.3%
7	キーエンス	1.2%
8	本田技研工業	1.2%
9	KDDI	1.1%
10	みずほフィナンシャルグループ	1.0%
	全銘柄数	2,081銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

### ■ 損益及び剰余金計算書

項目	第17期 (2017年7月11日～2018年7月10日)	
	金額（円）	
営業収益		
受取配当金	135,642,788,590	
有価証券売買等損益	312,442,429,890	
派生商品取引等損益	7,361,075,040	
その他収益	8,744,853,196	
営業収益合計	464,191,146,716	
営業費用		
支払利息	△	257,363,510
受託者報酬	3,344,426,177	
委託者報酬	6,265,555,259	
その他費用	1,013,190,279	
営業費用合計	10,365,808,205	
営業利益又は営業損失（△）	453,825,338,511	
経常利益又は経常損失（△）	453,825,338,511	
当期純利益又は当期純損失（△）	453,825,338,511	
一部交換に伴う当期純利益金額の分配額又は一部交換に伴う当期純損失金額の分配額（△）	-	
期首剰余金又は期首欠損金（△）	1,258,882,364,274	
剰余金増加額又は欠損金減少額	799,534,421,224	
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	799,534,421,224	
剰余金減少額又は欠損金増加額	155,854,526,230	
当期一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	155,854,526,230	
分配金	133,901,449,987	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	2,222,486,147,792	

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	iシェアーズMSCIコクサイETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
主要投資対象	MSCIコクサイ・インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の株式
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.25%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年7月31日）

	銘柄名	業種	リスク対象国	組入比率
1	APPLE INC	情報技術	米国	2.5%
2	MICROSOFT CORP	情報技術	米国	2.0%
3	AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	米国	1.9%
4	FACEBOOK CLASS A INC	情報技術	米国	1.1%
5	JPMORGAN CHASE & CO	金融	米国	1.0%
6	ALPHABET INC CLASS C	情報技術	米国	1.0%
7	ALPHABET INC CLASS A	情報技術	米国	1.0%
8	JOHNSON & JOHNSON	ヘルスケア	米国	0.9%
9	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	米国	0.9%
10	BANK OF AMERICA CORP	金融	米国	0.8%
全銘柄数			1,317銘柄	

### ■ 費用明細（2017年8月1日から2018年7月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.25%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄の株式
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.14%程度
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年10月31日）

	銘 柄 名	業 種	組入比率
1	Tencent Holdings Ltd.	インターネット	4.1%
2	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	半導体	3.8%
3	Alibaba Group Holding Ltd.	特殊消費者サービス	3.1%
4	Naspers Ltd.	放送・エンターテインメント	1.5%
5	China Construction Bank Corp.	銀行	1.5%
6	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	銀行	1.2%
7	Petroleo Brasileiro SA	総合石油・ガス	1.2%
8	Vale SA	鉄・鉄鋼	1.1%
9	Baidu Inc.	インターネット	1.1%
10	Ping An Insurance Group Co. of China Ltd.	生命保険	1.1%
全銘柄数		4,644銘柄	

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。

※組入比率は純資産総額に対する割合です。

### ■ 費用明細（2017年11月1日から2018年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.14%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

### ■ 組入上位5業種（基準日：2018年10月31日）

業 種	組入比率
金融	28.6%
テクノロジー	15.0%
消費者サービス	11.2%
資本財	9.7%
石油・ガス	8.6%

※業種は業種分類ベンチマーク（ICB）基準による分類です。

※組入比率はポートフォリオに対する割合です。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・REIT ETF
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	MSCI 米国REITインデックス（ベンチマーク）の構成銘柄のリート
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.12%程度
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年1月31日）

	銘柄名	組入比率
1	Vanguard REIT II Index Fund	10.1%
2	Simon Property Group Inc.	5.5%
3	Equinix Inc.	3.9%
4	Prologis Inc.	3.8%
5	Public Storage	3.3%
6	AvalonBay Communities Inc.	2.6%
7	Digital Realty Trust Inc.	2.5%
8	Equity Residential	2.5%
9	Welltower Inc.	2.4%
10	Ventas Inc.	2.2%
全銘柄数		184銘柄

### ■ 費用明細（2017年2月1日から2018年1月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

## 三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・グローバル（除く米国）不動産 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
主要投資対象	S & Pグローバル（除く米国）不動産インデックス（ベンチマーク）の構成銘柄のリート
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
取引通貨	米ドル
管理報酬等	年0.14%程度
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

### ■ 組入上位10銘柄（基準日：2018年10月31日）

	銘 柄 名	種 類	組 入 比 率
1	Unibail-Rodamco-Westfield	Retail REITs	2.6%
2	Vonovia SE	Real Estate Operating Companies	2.4%
3	Mitsui Fudosan Co. Ltd.	Diversified Real Estate Activities	2.3%
4	Mitsubishi Estate Co. Ltd.	Diversified Real Estate Activities	2.3%
5	Daiwa House Industry Co. Ltd.	Diversified Real Estate Activities	2.1%
6	Sun Hung Kai Properties Ltd.	Diversified Real Estate Activities	2.0%
7	Link REIT	Retail REITs	1.9%
8	CK Asset Holdings Ltd.	Real Estate Development	1.8%
9	Sumitomo Realty & Development Co. Ltd.	Diversified Real Estate Activities	1.7%
10	Deutsche Wohnen SE	Real Estate Operating Companies	1.7%
全銘柄数		635銘柄	

### ■ 費用明細（2017年11月1日から2018年10月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.12%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。